

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第 1 6 回相模原市観光振興審議会			
事務局 (担当課)	市長公室シビックプライド推進部観光・シティプロモーション課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 3 6 (直通)			
開催日時	令和 3 年 9 月 3 日 (金) ~ 9 月 1 7 日 (金)			
出席者	委員	9 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人 (別紙のとおり)		
	事務局	3 人 (観光・シティプロモーション課長、他 2 人)		
公開の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0 人	
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由	書面会議のため			
議 題	<p>1 議題</p> <p>(1) 令和 2 年度 of 取組状況について</p> <p>(2) 計画における指標に係る令和 2 年度の結果及び各指標の動向について</p> <p>(3) 令和 3 年度の取組予定について</p> <p>(4) 令和 3 年度におけるオリンピック等 (サイクル関連) の結果について</p> <p>(5) 今後の課題について</p>			

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(審議を書面等で行った理由)

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために、委員等が一堂に会する方法により会議を開催することが困難であったため、書面により委員の意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

1 議題 (○は委員の意見、●は事務局の説明)

議題について、事務局より説明資料及び意見書を送付し、書面により審議を行った。各議題について、次のとおり意見があった。

(1) 令和2年度 of 取組状況について

- 各地域別計画を推進している団体に対して補助金が支払われているが、その用途等について、市民の視点による評価や検証を行う必要性があると考えます。
- 現状としては、補助金所管課において、決算書、事業結果報告書等の確認を行うとともに、事業効果や評価を行い補助金が適正に利用されているか検証している。
- 市内各観光協会同士の活動発表会を公開の場で行うなど、市民にアピールする機会を設けてはどうか。
- 各観光協会と相談していきたい。

(2) 計画における指標に係る令和2年度の結果及び各指標の動向について

- 出典資料ですが、神奈川県ホームページの「市町村別の入込観光客と観光客消費額の状況」からでしょうか。そうであれば数値が多少異なっておりましたので確認です。
- 「第3次相模原市観光振興計画」における「入込観光客数」の指標は、イベント客数を除いた数値となっているため、神奈川県ホームページに掲載されている数値と差異が生じている。
- 「相模原市総合計画」において設定している観光施策に関する指標について、他自治体と比較することで本市の課題がより明確にイメージ出来ると考える。
- 観光施策に関する指標を他自治体と比較し、課題等を明確にしたうえで、今後の施策等に生かしていきたい。
- 地域で活動している際に、観光客に対し目的や要望の聞き取り調査を行ったところ、緑豊かな自然や眺望、また、駐車場が整備されていることなど評価される意見があった一方で、飲食店が無いことやトイレの老朽化、バス等の交通の不便

さなどの意見もあった。各地域において、観光客に対する聞き取り調査を実施してはどうか。

- 各観光協会と協力して、地域における観光客の意見や感想などを収集する方法を考えていきたい。
- 橋本駅などで観光案内所を開設してはどうか。
- 橋本駅はリニア中央新幹線の開業予定もあり、観光客の増加も見込めることから、橋本駅周辺のまちづくりの中で観光案内所の開設について検討していきたい。

(3) 令和3年度の取組予定について

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源とするマイクロツーリズム促進事業について、開始時期が未定となっている事業は執行期限までに完了することが出来るか。事業の始動についてはいつごろとなるか。また、計画は継続性が重要と思いますが、次年度にどのように繋げ、財源をどう確保していく予定か。
- 新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しつつ、交付金の執行期限までに事業が完了することが出来るよう展開していきたいと考えている。また、マイクロツーリズムについては本市の観光施策として重要なコンテンツであるため、次年度以降も継続して実施していくことが出来るよう財源の確保に向けて所管課と調整を行っていく。
- 観光マイスター事業について、市民の方々に事業内容をアピールし、直接話し合える場を持つべきと考える。
- 観光マイスター事業について、周知方法も含め市民の方々が利用しやすい環境を整えていきたい。

(4) 令和3年度におけるオリンピック等（サイクル関連）の結果について

- オリンピックレガシーとして、「サイクリング」を観光活性化のコンテンツにできないか考えている。四国一周サイクリングのようなものが開催されると良いと思う。
- オリンピックレガシーの一つとして、サイクルツーリズムの推進を考えている。

(5) 今後の課題について

- 財政については相模原市のみならず、各自治体が厳しい状況であり、各自治体は国費（補助金）の使途に合わせた観光施策を考えている。今後もこれらを有効に運用できる体制を強化してはどうか。
- 本年度実施したマイクロツーリズム促進事業については、民間事業者と手を組み国費を活用した。今後も市内や民間事業者等と連携を図り、国費等の財源を確

保しながら観光施策を検討していきたい。

- 相模原市行財政構造改革プラン（案）に係る対応としてのイベントの見直しについて、大きなイベントのみを考えるのではなく、市民参加の小回りのきいた観光イベントを多く推進することを望む。
- 行政と地域とが一体となって、真に必要なイベントについて意見交換を行い、推進していく必要があると考える。
- 相模原市行財政構造改革プラン（案）の中で、今後のイベント等の在り方について言及されているが、イベントについては統廃合だけでなく隔年での実施するといった方法も選択肢としていただきたい。また、（公社）相模原市観光協会からコーディネーター役として各地域の観光協会へ積極的に人材育成を実施することで、地域資源の活用といった効果が見込まれる。
- 各地域の活性化のために地域の特色を生かしたイベント等の実施については重要であるとともに、各地域が自主性を持って実施する必要があると考える。また、市内外からの誘客施策を実施していくために、各地域における人材育成についても重要であると考える。
- 宮ヶ瀬湖周辺の訪客について検討するとのことであるが、何故、その周辺に限定しているのか。
- 市内各地域の個性を生かしながら観光振興を推進するため、「第3次相模原市観光振興計画」において観光資源の状況や地域資源などを考慮し9つのエリアを設定して観光振興に取り組んでいるところであり、今回その一つとして宮ヶ瀬エリアの課題をお示ししたものの。

（6）その他

- 入込観光客数、観光客消費額の数値から、一定の宿泊客数があるものの、日帰りが多い、消費額が少ないという事が読み取れる。現状を把握と市の上位課題を全体俯瞰し、観光という視点から解決策を中期的に進めていく必要があると考える。
- 数値として読み取ること出来る内容を踏まえ、今後の観光施策に反映させていきたい。
- 観光を産業の視点からとらえ、相模原市の都市運営にどのように寄与させるのかをこの観光振興計画の中で議論すべきと考える。
- 本審議会における今後の議題として議論していきたい。
- 地域・文化の伝統のあるイベント等は継続すべきである。
- 地域・文化の伝統のあるイベント等の継続に向けて協力を図っていきたい。

相模原市観光振興審議会委員出欠席名簿

区 分	氏 名	所属団体等		備考	出欠席
		名称	役職等		
学識経験者 ・ 専 門 家	内藤 錦樹	桜美林大学	名誉教授	会長	出席
		観光振興アドバイザー			
公 募 委 員	三宅 潔	公募委員	—		出席
関 連 団 体	中島 伸幸	(公社)相模原市観光協会	専務理事	副会長	出席
	大貫 幸雄	大島観光協会	会長		出席
	山崎 睦文	(一社)藤野観光協会	代表理事		出席
	小川 喜平	相模湖商工会	会長		出席
民間事業者	牧野 英太郎	(株)JTB相模原支店	支店長		出席
	佐藤 賢策	東日本旅客鉄道(株) 橋本駅	駅長		出席
	廣瀬 昌訓	相模湖リゾート(株)	代表取締役 会長		出席